



本部拠点



柏拠点



千葉拠点



長生拠点



四月七日、政府は新型コロナウイルスに対する「緊急事態宣言」を発表しました。対象地域は東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡でした。

また、四月十二日正午のNHKニュースは国内感染者が七三九九人、死者は一三七人に達したことを報じていました。連日五〇〇人以上が増加しています。千葉県では国内四番目に多い四六七人が感染し、その数は急増しています。世界では既に一八四万人です。誰もが知っている数字ですが、ワーナーホームの歴史の一ページとして残します。

このような社会情勢の下、二〇二〇年度は、ワーナーホームも新型コロナウイルス対策で始まりました。政府は外出自粛、休業を呼びかけ、小中高、特別支援学校の休校が続いている。春の高校野球をはじめ大規模イベントやプロスピーチなどの開催中止や開催延期が相次いでいます。製造業は製造ラインが止まりました。私たちが関係する会議や行事も中止になつたもの

が沢山あります。

また、WHOは「パンデミック」を宣言し、東京オリンピックもようやく延期が決まりました。

法人運営の基本方針

感染拡大を理由に居住事業所を閉鎖すると入居者は住む場を失い、通所事業所を閉鎖すると利用者は行き場をなくします。休業が長引くと法人運営は立ち行かなくなります。

今まで一度も想定したことがない状況で、今年度の事業方針を次の通りとしました。詳しくは次頁以降をご覧ください。

- ①職員と利用者の感染予防は最優先事項である。
- ②正職員、パート職員を問わず週休三日以上とし、給料・賃金を全額補償する。
- ③三密を防ぐために、通所事業所は時間短縮する。
- ④相談系は電話で対応する。

【そら】休止

住宅介護事業所「そら」(大網白里市)は、二〇二〇年二月をもって活動を休止することとなりました。二〇二二年九月に開設し、主に精神障害者の地域生活を支えてきました

ところでは、行政の対応が鍵を握っています。法人として何ができるのか、どこまでやらなければならないのか、大きな課題に直面しています。

影響を受ける職員は、約四十名、職員の約二十%に当たります。対応方法は、兄弟同士で面倒を見るという家庭が最多で三十二%、親など他の家族に頼む家庭が二十%、今までと同じように保育園に通うというのが二十%でした。所得補償が議論されている「仕事を休む」人は五%でした。ワーナーホームの職員では親に応援を頼むとか、兄弟同士で時間を過ごし親の帰りを待つことが多いようです。

それでも親が出勤すると子供たちも奮闘しています。それでも親が出勤すると子供たちだけになつてしまふ家庭があり、外出もできず家でゲームばかりしている状況もあって、柏原点では我が家が託児所となりました。職員の

『緊急事態宣言下で』 理事長 寺田 一郎

これまで負担を強いることはできませんでした。(次号で検証します)

新型コロナの影響

新年度の運営方針には新型コロナウイルスが大きく影響しています。

政府が出した小中高校と特別支援学校の休校要請は、ワーナーホームの職員にも降つて湧いた出来事です。法人としても対応を迫られ、休校の対象となる児童・生徒を持つ職員について緊急調査を行いました。

影響を受ける職員は、約四十名、職員の約二十%に当たります。対応方法は、兄弟同士で面倒を見るという家庭が最も多くなった人たち、大幅収入減の自営業など。

それについても必需品だとされているマスクや消毒液、果てはトイレットペーパーまで何ヵ月も店頭から無くなるという社会は、海外への依存度が極めて高い、脆弱な日本の産業構造を明らかにしました。実は、海外へ生産拠点を移すこととも雇用関係によらない働き方(フリーランス等)も安倍内閣の成長戦略で推奨されてきたことでした。

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で全く先が見えません。法人と職員に突き付けられた大きな課題は福祉事業の在り方まで問いかけていきます。ご家族、関係機関の方々、そして利用者・職員のすべてがこの災難を無事に乗り越えられますように祈っております。

子供たちが一～八人ぐらい、出勤時間になると職員に連れられて来ます。「職員の子どもたちがとても仲良しなって、嬉しい」とは、連日奮闘した妻の弁です。

見えてきた社会現象

新型コロナの感染が拡大する中で、経済活動への影響が心配されています。海外に生産拠点を置いている企業の生産停止、フリーランス、休校で休まざるを得なくなつた人たち、大幅収入減の自営業など。



三密防止

- ① 集団感染予防（クラスター）にならない。
 ② 職員の給与補償（正職員及びパート職員の給与は全額補償）。
 ③ 法人の損失を最小化。

- ① 原則
 ② ソーシャルディスタンス
 ③ 職員・利用者の体調管理
 ④ 職員体制（密度を下げるため）、できるだけ少ない人数で体力温存、長期戦に備える

以上の基本方針でステージを次のように分けました。
第一ステージ（感染拡大防止・行動自粛）
 利用者の居住場所・通所場所を確保することを優先します。従つて相談系事業所は訪問を原則中止し、電話での対応を中心します。地域活動支援センターは休業です。通所系は開所時間を短縮し、さらにグループ分けで事業を継続していますが、柏のペジブルは休業しました。訪問看護は維持しています。

グループホームではできるだけ外出機会を減らします。食事の時間をずらす、行事等は中止とします。買い物等もできるだけ職員が代行するようになりました。精神科定期受診が一番の問題です。入居者が通院することは感染機会の増大に直結しますので主治医による代理受診、処方箋の提出にはできるだけ電話診療や職員による代理受診、処方箋の提出は対応できません。

(寺田)

赤い羽根共同募金 「NHK歳末たすけあい」

ワークショップしらさど

作業机と椅子を購入しました。利用者から「新しい机で作業ができる」との声が多数ありました。

ありがとうございます！



新型コロナウィルス対策！

送信などの対応をお願いしていますが、まだ十分な理解を得られていません。

第二ステージ（非常時体制）

感染がさらに拡大した場合です。相談と地域活動支援センター、就労継続支援事業所はすべて休業します。感染者数の多い県北西部に位置する柏拠点では四月九日からこの体制に入っています。

所内研修「研究発表」



《貢献賞》

パンキンハウス
そら

テーマ

「プロジェクトW
～ゴミの人々を追え～」



《優秀賞》

長生地域生活支援センター
ワークショップ茂原 ぶらり

テーマ

「台風・水害被害から
見る必要な支援とは」

※優秀賞・貢献賞を受賞した事業所から研究発表のテーマや支援に対する思いをホームページ「活動日記」に掲載しています。ご覧ください。

2020年度 事業計画

【ファミーユ】 今年度も居室担当制を継続し、生活指導の見直し、利用者の重度・高齢化に合わせて支援をしています。利用者の「重度化」とは、加齢に伴う身体的介護量の増加を念頭においています。ホレブデイサービスセンターなどとの一体的な運営を検討します。

【クロワール】 昨年度、日中サービス支援型に変更し、掃除、洗濯、食事支援や買い物同行、健康管理などを実施しています。利用者の重度・高齢化に合わせて支援をしています。利用者の「重度化」とは、加齢に伴う身体的介護量の増加を念頭においていますが、ホレブデイサービスセンターなどとの一体的な運営を検討します。

居住系本部拠点は、新ホレブ寮、クロワール、ファミーユと付随する短期入所事業、及びだいで構成されていました。パンプキンハウスの相談機能を中心としながらこれら事業所と通所系事業所とが一体となつた事業運営を目指します。昨年度まで実施されていた居宅介護事業所「そらくすく」（柏市）の移動支援事業が付随している関係で、今後の取り扱いについて柏市役所と協議中です。

本部拠点 （居住系）

利用率は向上したものとの、設備が老朽化しているため毎月の施設点検を徹底し、修繕計画を作成して対応します。

【だいち】

者の生活の充実を図ります。

基本的業務について理解を深めながら業務分担をさらに進め確実な業務遂行を進めます。

【新ホレブ寮】

定員割れの状態が続き、単体での運営は極めて厳しい状況です。「新ホレブ寮」の在り方を検討する一年とし、修繕計画と併せてプロジェクトチームを立ち上げます。

【シエスタ】（ノバハイツ白里）

（短期入所） 適切なグループホームを見つかるまでの利用など相談支援事業所との連携を強化し、それぞれの利用者に適したサービスの提供を目指します。

（寺田）

本部拠点 （日中活動系）

增加することになります。介護保険と障害福祉サービスの違い、介護保険制度の理解等を深めるとともに、介護技術を高め、管理体制を構築する必要があります。

【だいち】

四月より就労継続支援B型事業「ワークショップおおあみ」定員二十名を開所いたしました。また、ホレブデイサービスセンター（共生型生活介護・通所介護）では、定員を三十四名から四十名に変更し、日中活動の場の受け入れを拡大いたします。

日中活動の場の選択肢が増えることに伴い、それぞれの事業の目的やサービス内容をしっかりと打ち出し、利用者がニーズや自立度の変化に合わせ、サービスを選択できるよう、また、併用を希望する者も増加傾向にある為、パンプキンハウスの相談機能を中心に事業所間の連携を強化し、きめ細やかに対応しています。

【高木】

ホレブデイサービスセンターは、共生型（生活介護・通所介護）の事業所であり、利用者の高齢化が進み、通所介護へ移行する利用者が徐々に増えつつあります。

（高木）





千葉拠点

私が千葉拠点の統括施設長に着任して一年が経ちました。千葉拠点の相談や地域移行支援、また居住、就労の支援実践で、千葉市や千葉市内の精神科病院との連携・協働は広がっています。また「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」を通して、千葉市内の他の事業所へのサポートや、市民、学生に向けた啓発、ピアサポートへの育成や活動支援など、地域での役割も拡大しています。

鎌取相談支援センターでは、ベテラン精神保健福祉士をセンター長として迎えます。増え続ける新規の相談に対応し、昨年同様に地域移行支援にも力を入れます。また昨年の台風被害を受けて災害時の対応を検討しました。災害時には緊急時安否確認リストやハザードマップを活用し、利用者の安否確認などを効率的に行います。今年度も精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」を通して、行政や精神科病院、地域の事業所との協働

神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業を通して、千葉市内の他の事業所へのサポートや、市民、学生に向けた啓発、ピアサポートの育成や活動支援など、地域での役割も拡大しています。

対応し、昨年同様に地域移行支援にも力を入れます。また昨年の台風被害を受けて災害時の対応を検討しました。災害時には緊急時安否確認リストやハザードマップを活用し、利用者の安否確認などを効率的に行います。今年度も「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」を通して、行政や精神科病院、地域の事業所との協働

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」を通して、千葉市内の他の事業所へのサポートや、市民、学生に向けた啓発、ピアサポートへの育成や活動支援など、地域での役割も拡大しています。

A black and white photograph showing a group of approximately ten people in what appears to be a professional or educational setting. They are gathered around a long table, looking down at something on it that is not clearly visible. The individuals are dressed in various styles of clothing, including jackets, shirts, and ties. The background shows large windows and some structural elements of the building.

フジエール（グループホーム）では地域移行の受け皿としての受け入れ、また利用期限を迎えた利用者の地域への退所支援を継続します。最近では下総精神医療センターからだけでなく多様な関係機関からの入所の問い合わせが来ており、それぞれの機関との連携を密に受け入れていきたいと思います。（山岡）

てきた課題を行政に届け、施策に反映させる役割を果たせりよう、各事業所につながる利用者や家族の声に耳を傾け、事業者や地域の課題を整理して積極的に発信していくたいと考えています。

に各所で検討や取り組みがされ始めていますが、子ども達の増加や成長は、私たちの議論や制度が整うのを待つてはくれません。すぐすぐにつながる子ども達の未来を支えるプロジェクトの趣旨にご賛同くださる地域の方々のお力ををお借りして、このことを実現したいと思います。精神障害を専門性としてきた法人として、医療的ケアや重度心身障害児者に対する事業拡張は、新しい挑戦です。しかし、ワーナーホームのはじまりがそう

や連携、またサポートも行い、地域の相談支援の役割を担います。

柏挺点

点内の関わる事業所が中心となつて、地域と協働して課題解決に取り組みます。中でも、

柏市では、地域生活支援拠点の設置を重点課題とした福祉計画、第六期ノーマライゼーションかしわプラン最終年度となり、次期プラン作成に取り組む年となります。地域生活支援拠点において見え

える支援体制の強化について
は、「すくすくハウス」設立プロ
ジェクトとして、寄付金の
募集や事業計画の検討、関係
各所との調整がはじまります。
医療的ケアに対応する地域
の支援体制については、すで

であつたように、ご本人やご家族の声にならない声に耳を傾け、重い障害があつても、地域の中でも安心して暮らしことができる地域づくりに取り組んでいきたいです。

(大久保)

長生拠点

長生地域生活支援センターを軸に、一体的な事業運営を目指します。各事業所は基本的な業務を確実に遂行する事が求められています。

【長生地域生活支援センター】

計画相談では計画作成、モニタリング共に件数増を目指します。また、地域移行支援、地域定着支援では、堅実な対応を心掛け実績を積むことします。圏域の総合支援協議会での役割を担うことによって地域課題解決と地域内での存在感を確立します。

【長生ブリオ】

長生地域生活支援センターとも連携しながら効果的、効率的な運営を目指します。そのため基本的な日常業務の確実な遂行及び他機関との連携強化を実践することに力点を置きます。具体的には各自の業務分担を明確にしたうえで、申送り、業務日誌やケーブル記録など基本的業務を確実に遂行するためのスキルアップを図ります。

【ワークショップ茂原】

昨年度は二階部分の改修工事が完了し、生活環境はかな

り改善しました。また、消費税増税（十月）があり、この影響もまだ不確定ですが、今年度は食品表示法の改正（四月）やレジ袋の有料化（七月）もあります。就労収支面では工賃支払い額が大きくなつてきましたので工賃の算定方法を五年ぶりに改訂する予定です。

また、長生き食パンの地域への浸透をはかり一層の売り上げ増を図ります。店舗のイメージアップを狙い、外装の改修工事を行います。

【ぶらり】

開所二年目となる今年度は、初年度の経験を基に運営の安定と利用者の安定を図ることを基本方針とします。また、災害時やイベントにおいては、長生拠点各事業所との一体的運営によって、効率的な運営を行います。

（寺田）



二〇一〇年四月主任昇格

リード

障害者就業・生活支援センター
山武ブリオ
杉本リリアナ

この度、山武ブリオの主任管理者になりました。

ワーナーホームに入職して三年目となり、まだまだ学ぶ日々です。そんな中、障害者就業・生活支援センターの役割としてはセンター長兼主任就業支援担当となり周りを見渡す余裕と責任ある行動が求められています。また、コロナウィルスの影響で情勢が不安定であり、障害者の就業に於いても厳しい状況になることが想定されます。山武ブリオとして利用者に寄り添った支援、個別処遇を意識した支援を行えるよう奮励していきたいと思います。

パンプキンハウスの事務所内でも明るく風通しの良い雰囲気づくりを心掛け、気軽に立ち寄って相談ができるような相談系事業所にしたいです。

みつばち訪問看護ステーション
土屋 光紀

この度、みつばち訪問看護の主任管理者になりました。

地域の精神科医療が見たいと思い早四年となりました。病棟では見られない生活環境や利用者の生き生きとした表情や活動を見る事ができ、その一端に関わることができるこの環境に感謝しています。

利用者が地域でその人らしく生活していくようこれからも関わっていきたいと思います。

主任としての抱負は、スタッフの育成と訪問件数を増やし黒字化することです。ワーナーホームの組織の一員という原点に立ち返り、みつばち訪問看護の基盤を固めていきたいと思います。また、訪問ルートを見直し無駄のない訪問を目指します。

与えられた役職にやりがいを持ちみつばち訪問看護を発展させていきたいと思います。



エクラス
齋藤 聰美



ワークショップ茂原
安藤 かおり



パンプキンハウス
中村 綾乃



クロワール
草野 鋼一



本部拠点 ワークショップおおあみ ～就労継続支援B型事業～

4/1より
スタート!!



四月一日からワークショップおおあみ（就労継続支援B型事業）が新規事業として開始しました。ワークショップおおあみは、ワークショップおおあみは、ワークショップおおあみの事業所のニーズは非常に高く、ワークショップおおあみには各方面から大勢の利用者が通所し、二〇二〇年二月末時点での登録者が九十名の大所帯となっていました。職員を過配置するなどして支援をしていましたが、よりよい支援を行うためにも利用者を分散させる動きとなりました。

場所は大網駅から徒歩十分で、駅や市役所、そしてスーパーなども徒歩圏内にある好立地です。体調や都合に合わせて自分のペースで通所したり地です。

立ち上げには、プロジェクトメンバーの他、大勢の職員が協力してくれました。今後は本部拠点の就労系事業所として、ワークショップおおあみと一緒に協力体制をとり、より良い支援を一体的に行います。

利用者・職員が協力し合い、ワークショップおおあみを特色のある事業所を作り上げたいと思っております。ぜひ見学にお越しください。お待ちしております。

（伊藤）



事業所内はワンフロアで日々しが入りとても明るく、二階にあるので見晴らし良好です。テーブルやイスなど、備品にもこだわりお洒落な内装です。

作業内容は、軽作業（商品の袋詰めや箱折り）を中心行います。個々の適性を見極めて作業指導を行い、やりがいと達成感が得られ、余暇活動も充実した日中活動の場、働く場を提供します。

ワークショップおおあみの立ち上げには、プロジェクトメンバーの他、大勢の職員が協力してくれました。今後は本部拠点の就労系事業所として、ワークショップおおあみと一緒に協力体制をとり、より良い支援を一体的に行います。

利用者・職員が協力し合い、ワークショップおおあみを特色のある事業所を作り上げたいと思っております。ぜひ見学にお越しください。お待ちしております。

企画したお花見では普段外出したりと過ごしています。

エクラスの入居者は「食」に敏感です。誰か一人が納豆を毎日食べ始めると納豆ブームとなり、現在はニンニク漬けが流行っています。また春に

エクラスでは共同生活援助事業・短期入所事業（空床利用型）の運営を行っています。定員は十六名で、三つのタイプ別の建物に別れ、様々なニーズに合わせた生活の場を提供しています。

グループホームでは、日中ほとんどの方が、就労や通所へ出かけ、とても静かです。夕方から続々と帰宅し、夕食時はリビングに集まり食事を楽しんだりテレビを見たりとゆつたりと過ごしています。

エクラスの入居者は「食」に敏感です。誰か一人が納豆を毎日食べ始めると納豆ブームとなり、現在はニンニク漬けが流行っています。また春に企画したお花見では普段外出したりと過ごしています。

意外にも負けず嫌いな方が多く我先にとゴールを目指したりとても盛り上りました。

ショートステイでは、地域で暮らす障害者が緊急時も含め、日々様々な理由で入居します。利用者が安心し休息できる居場所となっています。

私達が働くエクラスは食事の提供や生活の相談など多岐にわたる支援を行い、個々の自立への準備を進めています。これからも第二の家族として「笑顔で暮らすエクラス」を利用者と共に作り支援の輪を広げたいと思います。

（斎藤）



わーな一日誌

（エクラス）

ワーナーホームの主な動き

《一月》

- 初詣（千葉厄除け不動尊）／ワークショップしらさと
- 仕事初め 初詣（諏訪神社）／ペジーブル柏
- 初詣（千葉厄除け不動尊）／フジエール
- 初詣（千葉厄除け不動尊）／妙泉寺）／ホレブ寮・ノバハ
- 初詣（橘神社）・新年会／だいち
- 初詣（長福寿寺）・新年会（かつば寿司茂原店）／長生地域生活支援センター
- 初詣（北星神社）／すくすくイサービスセンター
- 初詣（白子神社）／ホレブデイサービスセンター
- 初詣（玉前神社）／ワークショップ茂原
- パン教室「食パンづくり」／ペジーブル柏
- 一号館餅つき大会（たんぽぽホール）／わたげワークス市民会館）／フジエール
- 事業所内研修「不審者対応講習」（パンプキンハウスホール）／ホレブ寮・ノバハイツ白里

まつりにてパン販売／ペジーブル柏

節分／フジエール

節分の会／長生地域生活支援センター

節分豆まき／すくすく運動プログラム「ボーリング」

（茂原ヤングボウル）／長生地域生活支援センター

《二月》

- ひなまつり／ホレブデイサービスセンター

※新型コロナウイルス感染予防のため行事等はすべて中止となりました。



イキシア入会のお願い

イキシア会は利用者とそのご家族及び一般有志からなるワーナーホームの支援団体です。活動においてご理解をいただき、ご支援・ご協力を賜ります様宜しくお願ひ致します。

広報イキシアは年三回（二月・五月・九月）発行されます。

正会員 賛助会員 三,〇〇〇円（年）

発行所 ワーナーホーム イキシア会

千葉県大網白里市細草3215

電話 0475-77-2100(代)

URL <http://www.wanahome.or.jp>

発行人 寺田 一郎

編集後記

毎日、新型コロナウイルス感染対策に追われており、落ち着かない日々が続いております。不安な日々を過ごしていますが、季節は春になります。ホレブ中庭のソメイヨシノの満開、そして、お花が咲いて癒されます。今年度もワーナーホームの出来事をお伝えしていきますのでよろしくお願いします。（A）

収支決算書

自2019(平成31)年4月 1日
至2020(令和 2)年3月31日

イキシア会 単位:円

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
振込料	30,119	会 費 (176名)	1,021,000
小 計	30,119	小 計	1,021,000
次期繰越合計	6,943,167	前 期 繰 越 合 計	5,952,286
	6,973,286		6,973,286